

都市再生整備計画 事後評価シート
間々田駅周辺地区

平成23年3月

栃木県小山市

様式2-1 評価結果のまとめ


都道府県名	栃木県		市町村名	小山市		地区名	間々田駅周辺地区			面積	210.0ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	2131.6	国費率	0.358				
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業		事業名								
	実施した事業		提案事業		道路(駅前広場東西口2箇所及び市道下町駅前線、市道3212号線、市道265号線、外9路線)、高質空間形成施設(照明施設、モニュメント等)								
					事業名								
	当初計画から削除した事業		基幹事業		削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
	新たに追加した事業		提案事業										
交付期間の変更		当初	平成18年度～22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	平成 年度 ～ 年度										
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		
	指標1	通行者のバリア等の改善率	%	18	H17	32	H22	18	32	○	あり なし	東口及び西口の駅前広場整備事業を実施しバリアフリー化が図られたことで、利用者にとって安全な生活環境が改善された。	平成23年6月
	指標2	商店街の通行者人数	人/日	281	H17	300	H22	298	290	△	あり なし	通行者数調査時点では整備が完成しておらず、社会情勢の変化により影響を受ける可能性はあるが、整備によって安全性や沿道商店の利便性が高まり、数値目標を達成する見込みである。	平成23年9月
	指標3	まちづくりに関する活動団体数	団体	2	H17	4	H22	4	4	○	あり なし	まちづくりに向けた機運が向上し、月に1回程度勉強会を開催し住民の知識向上と情報交換の場として活用するなどまちづくり活動が活発に行われている。	-
	指標4	センター施設自主講座数	講座/年	1,620	H17	2,000	H22	2,900	6,400	○	あり なし	地域交流センターや地域生活基盤施設の整備及び地域交流センターへのアクセス道路の整備効果により安定して講座が開催されており、施設整備効果が十分に発現している。	平成23年6月
	指標5	センター施設を活動の場とした団体数	団体	18	H17	20	H22	20	20	○	あり なし	地域交流センターや地域生活基盤施設の整備及び地域交流センターへのアクセス道路の整備効果により活動団体が施設を利用しやすくなり、施設整備効果が十分に発現している。	-
指標6	車屋美術館主催の研修会、講座の開催	回/年	0	H17	10	H22	22	32	○	あり なし	車屋美術館の整備により、市民自らが主体となる地域活動の拠点かつ地域文化創造の場の交流の核となる施設として位置づけられ、施設整備効果が十分に発現している。	平成23年6月	
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度		目標年度		モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み		
	その他の数値指標1	駅周辺居住人口の推移	人	4,082	H17			4,131	4,136			間々田駅西口駅前広場整備、車屋美術館の整備などによる地域の交流の場が設けられ、人口減少に歯止めが掛かり、増加傾向が見られ、効果の発現の兆候がある。	平成23年6月
その他の数値指標2	狭隘道路の割合	%	31.6	H17				27.1			狭隘道路の割合が改善されつつあり、緊急車両の進入が容易になり、安心・安全のまちづくりが構築されている。	平成23年6月	
4) 定性的な効果発現状況	本事業の実施に伴い、まちづくり活動団体等の積極的な取り組みが徐々に実を結び、各種事業に対する合意形成のとりまとめ等、協働のまちづくり活動が浸透してきた手応えがある。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	市統計調査等によるモニタリング				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度の本市統計書により確認する。
	住民参加プロセス	間々田駅周辺地区整備推進協議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		市民の意見交換の場として活動できており、今後も市は活動支援を継続する。
	持続的なまちづくり体制の構築	幹線道路等整備住民研究会の活動				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● ● ●		市民を主体としたまちづくり活動が継続して行われるようになり、今後も市はまちづくり関連活動の支援を継続する。

様式2-2 地区の概要


間々田駅周辺地区(栃木県小山市) 都市再生整備計画事業の成果概要

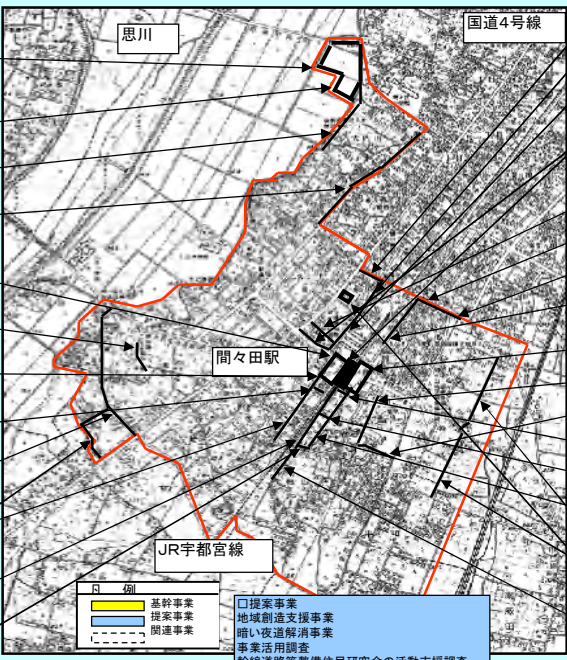
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
目標1 駅舎のエレベータ設置にあわせ、子供やお年寄り等にとっての移動環境に係る障害を取り除き、安全な生活環境の形成を図る。 目標2 地域資源の活用や施設の高質化整備により、快適でうれしいのある生活環境の実現を図る。 目標3 日常の防犯性の向上や災害など緊急時にも対応できるまちづくりにより、安心できる生活環境の形成を図る。	通行者のバリア等の改善率 単位: %	18 H17	32 H22	32 H22
	商店街の通行者人数 単位: 人/日	281 H17	300 H22	290 H22
	まちづくりに関する活動団体数 単位: 団体	2 H17	4 H22	4 H22
	センター施設自主講座数 単位: 講座/年	1,620 H17	2,000 H22	6,400 H22
	センター施設を活動の場とした団体数 単位: 団体	18 H17	20 H22	20 H22
	車屋美術館主催の研修会、講座の開催 単位: 回/年	0 H17	10 H22	32 H22
	駅周辺居住人口の推移 単位: 人	4,082 H17		4,136 H22
	狭隘道路の割合 単位: %	31.6 H17		27.1 H22

間々田駅西口



交流センター






■ 基幹事業
■ 提案事業
■ 関連事業

□ 提案事業
□ 提案事業
□ 関連事業


■ 基幹事業
■ 提案事業
■ 関連事業

□ 提案事業
□ 提案事業
□ 関連事業

間々田駅東口



車屋美術館



まちの課題の変化 駅東西口の駅前広場の整備が完成し、エレベータ設置などのバリアフリー化が図られ、交通機能強化のために都市計画道路整備や飯田路切払事業に着手した。また市民交流センター及び関連施設と車屋美術館が完成し、地域活動の拠点となり、まちづくり活動団体では繰り返し勉強会を行い「安心・安全」に対する意識の向上が図れた。今後は、近隣商業機能や地域の交流活動の活性化のためのソフトづくりや狭隘道路及び地域拠点施設へのアクセス道路整備及び安心・安全で快適な住環境整備のための「地区のルール」づくりが課題となっている。また、道路整備による通過交通増大に伴う安全性の確保が新たな課題となっている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- 快適な住環境の形成を図るためにまちづくり活動支援をおこない、まちのルールについて地区計画制度の検討をする。
- 商業施設の活性化のために、地元の交流の場づくりや交流活動等のイベント開催支援を行う。
- 移設された地域活動拠点施設へのアクセス道路の整備や、狭隘道路の拡幅整備を行いネットワークの充実を図る。
- JR間々田駅から「歴史の道」への人の流れを生み出すために乙女河岸周辺整備事業を推進する。
- 通過交通量増加に伴う安全性の確保のため道路整備にあわせた安全対策事業を行う。